

## 多文化共生社会のまちづくりに向けて、都内リレー専門家相談会の取り組みから

東京都国際交流委員会事務局長 阿部 祐一

### 外国人住民の定住化と 問題解決のために

東京都の外国人登録者は、二〇〇六年一月現在で三六万四六五三人となり、この一年間で約一〇万人増加し、人口のほぼ三%に迫る勢いとなっている。それを国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、フィリピンなどアジア系の国籍の人が圧倒的に多く、この三カ国で七〇%を超えている。地域により外国人住民をめぐれる状況は大きく異なるが、人口の一〇%を超えている地域もあるなど定住化がますます進んでいるのが現状である。

このような外国人住民の増加とともに、さまざまな生活上の問題が生じており、言葉の壁により外国人支援サービスなどの有用な情報がうまく伝わらず外国人住民の生活に不便、不安を感じる状況が多く見

られている。また、言葉や文化の違い、生活習慣などの違いから地域住民との間で生活ルールなどをめぐるトラブルが多く発生している。しかし、抱えている問題は、やはり、外国人特有の問題である在留資格、結婚・離婚、労働問題、異文化ストレスからくる心の問題などが圧倒的に多く、複雑多岐にわたっているのが現実であるが、それらの問題を解決するために多言語で対応する相談窓口は大変少なく、相談体制はまだまだ十分でないと言える。

このような外国人住民の現状を解決するために、東京都国際交流委員会、都内区市の国際交流協会を中心に行政枠を超えたネットワーク型の相談事業に取り組みようとする検討が行われ、平成一三年度に東京国際交流団体連絡会議(都内国際交流協会のネットワーク)の中に、外国人相談事業部会を設置し、外国人住民の支援のため相

談事業を実施することを決定した。そして、都内区市の国際交流協会や弁護士会、多文化間精神医学会などの専門家団体、NPO、行政本体などの三二団体で構成されるネットワーク組織を構築し、平成一四年度に在住外国人のための「都内リレー専門家相談会」をスタートした。

### 都内リレー専門家 相談会の役割

在住外国人のための「都内リレー専門家相談会」は、構成するネットワークのメンバーの協働事業と位置付け、区市の国際交流協会や行政は相談会の場所の確保や住民への広報を担当、専門家団体は専門家の派遣、ボランティアは当日の運営や通訳、東京都国際交流委員会は全体広報や全体調整など事務局を担当し、各団体が得意な分野で役割を分担し、行政枠を超えたネッ



↑リレー相談会受付風景

保険・税金、  
労働・賃金、  
医療問題、  
学校・進学な  
ど多岐にわ

トワークを構築して事業を展開している。特に、東京都国際交流委員会は、地域国際化協会として区市の国際交流協会や外国人支援団体等との連携を強化するため、「都内リレー専門家相談会」の実施における参加団体のネットワークを進めている。そのため、区市の国際交流協会や外国人支援団体と十分に情報交換を行い開催団体の拡大に努めるとともに、相談会の運営に必要とする経費の確保とボランティアや専門家の全体調整を行っている。その結果、新たにネットワークに参加する団体も多くなり、相談会の運営等が円滑に進み外国人支援のための連携強化が図られた。初年度は九回の開催であったがその実施結果を踏まえ、さらに発展強化させるためネットワーク各団体間の意見交換や努力の結果その必要性が認識され、年々開催場所が増えてきている。平成一八年度は一七回の開催を予定しており、当初目標とした月二回、年間二四回の達成に近づき、都内各地で実施することにより、誰でもどこの場所でも相談できる体制ができた。

「都内リレー専門家相談会」は、多分野にわたり多言語で相談することが可能であるため、相談内容は在留資格、結婚・離婚、労働・賃金、医療問題、学校・進学など多岐にわ



↑リレー相談会ボランティア待機コーナー

たり、最近では、異文化ストレスからくる心の問題なども寄せられている。相談には、弁護士、行政書士、税理士、社会保険労務士、教育相談員、労働相談員、精神科医、行政職員などが当たり、その場で解決することが大きな特徴である。当日の運営を担当する通訳ボランティアは、普段は区市の国際交流協会に所属し活動しているが、「都内リレー専門家相談会」では多言語対応ができるよう団体や行政枠を超えて積極的に参加している。特に、外国人住民も自らの滞日経験を生かし、通訳ボランティアとして多くの人が参加しているのも特徴で、結果的に二一言語に対応できる体制になっている。



↑リレー相談会進行確認の様子

この「都内リレー専門家相談会」のネットワークは、二〇〇五年四月に再編成して「東京外国人支援ネットワーク」として新たに発足し、国際交流協会一九団体、専門家団体二団体、NPO等団体一三団体、行政七団体の四一団体の構成となり、支援団体のネットワークをさらに拡大するなど、実施体制を強化し外国人支援に

積極的に取り組んでいる。

今後、外国人住民の定住化が進む中で外国人住民を取り巻く環境はさらに厳しく、問題も多発するものと予想されるので、この東京外国人支援ネットワークが協働事業として展開する「都内リレー専門家相談会」は、その問題解決のため大きな役割を果たすことは確実であり、今後さらに拡大させることが必要である。

過去の実施状況と平成一八年度の実施予定は表(次頁)のとおりである。

## 多文化共生社会を 実現するために

今後、外国人住民がますます増加し定住化が進むと、問題が多発するものと思われるが、人数の多少にかかわらず、自分の地域に住んでいる文化的背景の異なる人々とのかわりをどう持って、どう共生するか課題である。自分の住んでいる地域の現状がなかなかつかめない中、さらに住民同士の交流もなかなか進まず多くの問題が生じトラブルの原因となっている。地域で日本人と外国人、外国人同士が交流し生活していくことは、大変困難かもしれないが、外国人住民も生活者であり地域住民であることを理解することが重要である。

これらの多種多様の問題を解決するためには、困っている時、情報が欲しい時に情報がすぐ入手できることが望ましく、国

際交流協会や行政ではより効果的な情報提供を行うことが求められるが、現状では、広報誌やチラシ、パンフレットなどで多くの情報が提供されているものの、なかなか必要としている情報が届いていない。

これらの問題を解決すべく、それぞれの団体に模索しているが、東京都国際交流委員会では、ホームページに外国人住民が活用できるように広報誌やリンクサイトなどを掲載し、外国人住民に対する情報を分かりやすく提供するとともに、さらに、生活情報や緊急災害時情報など外国人住民のための生活ガイドを分かりやすく解説し多言語で掲載する予定である。

外国人住民への情報提供は、同言語のネットワークで流れることが多いため、行政の区域だけでは解決できない場合も多く、問題が起きたときに外国人住民が気軽に相談できる場所が必要である。そのためには、国際交流協会や外国人支援団体等がネットワークを組み、誰でも相談できる体制をさらに発展させ、外国人住民にとって安心して暮らせるまちなしにすることが必要である。

多文化共生社会の構築に向けて、日本人住民の意識啓発と外国人住民の地域コミュニティへの参加を進め、言葉や文化等が違って同じ住民として新しいまちづくりを積極的に行うことが重要であり、多文化共生社会を実現することが地域の安定と住みよいまちづくりにつながると思う。

表1：リレー相談会年度別実施状況

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	計
会場	9カ所	12カ所	15カ所	15カ所	51カ所
相談者数	36カ国188人	40カ国319人	44カ国292人	48カ国299人	1,098人
相談件数	252件	476件	425件	392件	1,545件
対応言語数	16言語	19言語	14言語	13言語	—
語学ボランティア数	20言語243人	28言語324人	22言語377人	23言語303人	1,247人
専門家数	15分野75人	17分野127人	13分野213人	17分野164人	579人

表2：平成18年度リレー相談会実施予定

回数	開催日	場所	共催団体
1	4月22日(土)	スイング10Fスカイルーム	武蔵野市国際交流協会
2	6月11日(日)	アジア文化会館	文京多言語サポートネットワーク
3	7月 2日(日)	Lソフィア3F学習室	足立区役所区民課多文化共生担当
4	7月30日(日)	東京都南部労政会館	(特活) 国際活動市民中心
5	9月 9日(土)	東京国際フォーラム	関東弁護士会連合会
6	9月30日(土)	町田市民フォーラム4F	(財) 町田市文化・国際交流財団
7	10月21日(土)	エセナおおた	OCNet
8	10月22日(日)	コール田無	西東京市市民生活部生活文化課
9	10月29日(日)	国分寺労政会館	国分寺市国際協会
10	11月11日(土)	中野区立商工会館	中野区国際交流協会
11	12月 2日(土)	立川市女性総合センターアイム5F	(特活) たちかわ多文化共生センター
12	12月 3日(日)	調布市文化会館たづくり12F	調布市国際交流協会
13	12月16日(土)	ハイライフプラザいたばし	(財) 板橋区文化・国際交流財団
14	1月27日(土)	すみだリバーサイドホール	墨田区地域振興部地域振興課国際交流担当
15	2月10日(土)	あんさんぶる荻窪	杉並区交流協会
16	2月17日(土)	クリエイトホール	八王子市市民活動推進部学園都市文化課
17	3月10日(土)	牛込笹筒区民ホール	共住懇